

第2章 達成しようとする目標

1. 国の目標値

特定健康診査等の基本指針に掲げる全国目標は、平成29年度における特定健診実施率を70%以上、特定保健指導実施率を45%以上としている。

その上で市町村国保の目標値は、平成29年度における特定健診実施率60%以上、特定保健指導実施率60%以上と掲げている。また、実施の成果に係る目標として、平成29年度において、平成20年度と比較したメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率を25%以上としている。

2. 中央市の目標値

基本指針に掲げる国の目標に即して、中央市国民健康保険における目標値を以下のとおり設定する。なお、「メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率」については、国の目標である「平成29年度に25%（平成20年度比）」を参考指標とする。

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
特定健診受診率	50%	53%	56%	58%	60%
特定保健指導実施率	32%	39%	46%	53%	60%

3. 対象者数及び実施者数（推計）

平成25年度から29年度までの特定健診・特定保健指導の対象者数及び実施者数について、過去5年間における国民健康保険被保険者数の伸び率を参考に以下のとおり設定する。

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
特定健診	対象者数	5,581人	5,637人	5,694人	5,751人	5,809人
	受診者数	2,791人	2,988人	3,189人	3,336人	3,486人
特定保健指導	対象者数	347人	371人	396人	414人	433人
	受診者数	112人	145人	183人	220人	260人

(過去のデータから特定健診対象者の伸び率を1%、特定保健指導対象者の出現率を12.40%で算出)

*出現率の算出（平成20年度～平成24年度のデータ）

$$\frac{255人 + 255人 + 261人 + 263人 + 280人}{1,881人 + 1,999人 + 2,063人 + 2,206人 + 2,449人} = 12.40\%$$